

# 生きている白山に学ぶ水と緑と防災 白山砂防通信



SABOは  
世界の共通語

2018. 秋号  
VOL.41

## 風嵐裏谷砂防堰堤見学路の整備完了！

白山砂防科学館を見学された方々に科学館の展示物等から学んだ砂防事業や砂防施設等に対する印象・理解を深めてもらうため、昨年から行っていた風嵐裏谷砂防堰堤見学路の整備が完了しました。

これからは、いつでも安全に風嵐裏谷砂防堰堤を見学することができるので、興味のある方は白山砂防科学館職員へお尋ね下さい。

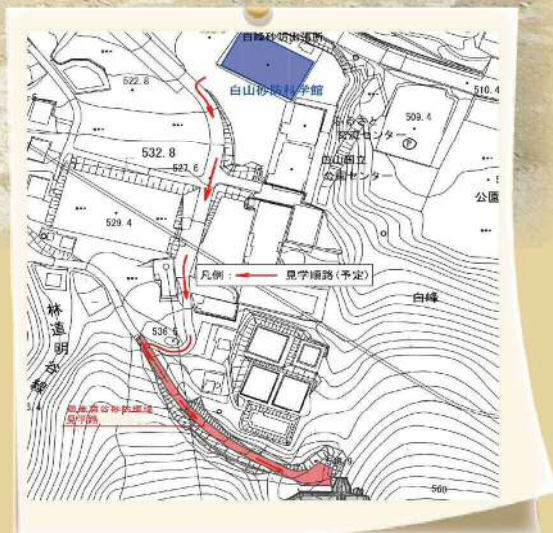
※風嵐裏谷は、土石流発生の危険性があり、人家や社会福祉施設、公共施設に被害が生ずる恐れがある「土石流危険渓流」に指定されている小さな谷です。土石流から白山砂防科学館がある白山まるごと体験村を訪れた方々や保養施設等の施設群を守るために風嵐裏谷砂防堰堤が建設されました。



風嵐裏谷砂防堰堤の見学会は  
随時募集中じゃ



風嵐裏谷砂防堰堤は、白山  
まるごと体験村などの施設や  
人々を土石流から守ってくれ  
ているんだね！





# 『手取川昭和9年水害記録誌』に関する 感謝状贈呈式およびCD寄贈式が行われました！

昭和9年7月11日、手取川では大水害が発生しました。金沢河川国道事務所では後世にその日のことを伝えていくための記録誌を作成しました。この記録誌は、林茂さんの体験談や当時の様子を描いた水彩画を使わせていただき作ることが出来ました。

大水害発生前日となる7月10日に、ご協力下さった林茂さんをはじめ関係者の方々へ感謝状を贈呈し、手取川沿川地域5市町内の小学校には総合学習などの防災教育に活用してもらうため、記録誌データをCDにて寄贈しました。

この記録誌をきっかけに、多くの方々が水害に対する認識と理解を深め、災害時に取るべき行動や心構えを考える一助となれば幸いです。



H30.7.10 感謝状贈呈式及びCD寄贈式の様子

この欄では近年各地で頻発している土砂災害から身を守るために役立つ知識を順次紹介していきます。  
第1回は土砂災害の前兆についてだよ！



## シリーズ 1

# 土砂災害から身を守るために

### 土砂災害の前兆に注意しよう

土砂災害には前兆現象があります。下の図のような現象を見たり聞いたりしたときは早めに避難してください。前兆現象をわざわざ見に行くことはとても危険です。絶対に近づかないでください。

※紹介した現象が土砂災害発生の全てではなく、現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。



土石流



大雨によって川の中の大きな石や山の斜面からくずれた土や石などが、水といっしょになって、一気に流れ出てくる現象



地すべり



粘土のようなすべりやすい地層に雨水や雪どけ水などがしみこみ、ゆるくて広い範囲の地面がすべり出す現象



がけ崩れ



地中にたくさんの雨水がしみこんだ時や地震で斜面にひびが入った時など、急な斜面が突然崩れ落ちる現象





# 白山砂防

## キャンプ砂防2018in白山

開催期間：8月27日（月）～31日（金）

**目的** 近年中山間地域では、過疎化、高齢化に伴い森林管理の衰退や耕作放棄地の増加などにより荒廃が進んでおり、土砂災害の発生等大きな社会問題となっている一方、活力ある地域づくりのために各地域の個性を活かした様々な取り組みがなされています。

「キャンプ砂防」は、このような中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年度より実施されています。金沢河川国道事務所で行われるのは、今年で20回目です。

**内容** 白山麓の歴史・文化・自然を地域の人々との交流をとおして、砂防事業の役割を考えます。さらに、白山国立公園内で砂防事業を行っていることから、環境保全と砂防についても考えていただきます。学校では学ぶことのできないことを体験的に学習してもらう、幅広いカリキュラムで実施しました。

### キャンプ砂防の活動の様子を少し紹介します

施工業者の方に施工中の万才谷排水トンネルを案内していただきました。ちょうど資材運搬のためのヘリコプターに遭遇・・・ピンポイントで資材を設置する高度な技術に一同びっくり！！



万才谷排水トンネル施工現場



手取川源流域調査

今年のキャンプ砂防には、岩手・三重・広島・筑波から4名の大学生が参加されました。

現場見学だけではなく、法面ロリップやコンクリート打設・型枠組立など現場作業の体験も行いました。また白山市白峰に宿泊して、地元の砂防事業に関わる方々のお話を聞いたり、白山が国立公園である事から環境省の方の講義を受けました。カリキュラム3・4日目には、手取川源流域調査で白山に登り、途中砂防・地すべり対策事業の見学を行いました。

5日間を通して、先人からの技術の継承や国立公園内での環境への配慮など、多くの事を学習してもらいました。

キャンプ砂防の運営にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



法面ロリップ体験



コンクリート打設体験

### キャンプ砂防を終えて・・・

キャンプ生の声

貴重な経験をさせていただきありがとうございました！



白山山頂で記念撮影！

- ・ 厳しい条件のもとで、多くの努力と安全や環境への配慮がなされて、砂防施設が作られていることがわかりました。
- ・ 実際に現場を見学してみて、人工的に作られた構造物は自然の微細な変化に敏感に対応するように作られており、自然との共存が図られている事を知りました。
- ・ 法面ロリップや型枠組立などの体験は、外から見ていると安易に出来るかと思っていたましたが、実際はとても難しく作業の大変さがわかりました。
- ・ 砂防事業には多様な側面があり、いくつもの職種の多くの方々が関わり、1つのものを作り上げていることがわかりました。将来自分がどのような職業につき社会に貢献していくかを、今後じっくり考えたいと思いました。
- ・ ぜひ、「キャンプ砂防」を友人や後輩に勧めたいです。



◆ イベントのお知らせ ◆

# 「百万貫の岩」春の見学ツアーを開催しました

5月27日(日)白山・白峰若葉まつりにおいて「百万貫の岩」見学ツアーを開催し20名が参加しました。百万貫の岩の大きさに、あらためて自然災害の脅威を痛感しました。



若葉まつり会場にて受付



白山砂防科学館で白山砂防の歴史について学ぶ  
(昭和9年の手取川大洪水の3Dシアターなど)



手取川大洪水の大きな爪痕「百万貫の岩」  
の近くまで行きその大きさを体感

**豆知識**  
 県指定天然記念物  
**百万貫の岩**  
 昭和9年手取川大洪水に3キロ上流の宮谷から流れ出たとされる巨岩  
 高さ16m、重さ129万貫(約4839t)があると推定されている

《参加者の声》



実際に百万貫の岩を見たが、こんな大きな岩が流れてきたことにびっくりした。白山火山の噴火や大雨などで土石流が発生し手取川ダムに土石流が堆積した場合、私達の飲み水はいったいどうなるのだろうと恐怖を感じた。是非とも白山砂防の工事を継続してやって頂きたい。砂防工事の大切さを実感した！

## 次回 秋の見学ツアーの予定

各地で土砂災害が発生し、甚大な被害を与えています。「もし土砂災害が起きたら!? 手取川はどうなるの?」そんな不安や疑問があったら聞いてみませんか?

白山砂防の象徴 (1時間半)

**『百万貫の岩』  
見学ツアー**

まつり会場→白山砂防科学館→  
百万貫の岩→まつり会場

11月4日(日) 13:00 先着20名(無料)  
白山・白峰温泉まつり 会場にて申し込み

## 近隣のスポット情報

石川県立  
白山ろく民俗資料館

白山砂防科学館より車で約5分



出作り小屋



### 白山砂防科学館・見学のご案内

白山砂防科学館は自由に見学する事が出来ます。ご希望に応じ解説も致しますのでご相談下さい。団体見学の場合は前もってご予約下さい。詳しくは白山砂防科学館までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

白山砂防科学館 入館無料(休館日:毎週木曜日)  
TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991

◆編集・発行◆

国土交通省金沢河川国道事務所  
流域対策課

〒920-8648

金沢市西念4丁目23番5号

TEL 076-264-9913

FAX 076-233-9612

Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp